

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

(1) 策定コンセプト

福井県における男女共同参画および女性活躍をさらに進める新たな計画の策定に当たり、次の2つをコンセプトとして掲げ、学生、働く女性、Iターン者、女性団体等の多くの県民のみなさんと意見交換を行うとともに、1,069名の県民のみなさん、755社の企業のみなさんに協力いただき、意識調査を実施しました。

- ① 多様な「しあわせ」に寄り添う社会を目指す
～特に「女性が暮らしやすい社会」は「みんなが暮らしやすい社会」～
- ② 次世代ファースト
～福井の良さを次代に継承し、女性や若者から選ばれる福井に～

また、福井県と「女性の生活の質の向上に向けた相互協力協定」を締結している国立大学法人お茶の水女子大学から、「男性の家事・育児参加」や「家事代行の利用促進」などの政策提言をいただきました。

[意見交換会]

・働く女性 女性リーダー研修(未来きらりプログラム)受講生	R3.7月
・大学生、県庁インターンシップ生	R3.8月
・子育て世代の女性(Iターン者)	R3.8月
・新社会人(1～3年目)	R3.8月
・女性の活動団体等	R3.8月
・県内企業の経営者・人事担当者	R3.7月・8月

[意識調査]

・男女共同参画に関する県民意識調査	R2.11月～12月	1,069人
・企業における女性活躍に関する調査	R2.12月	755社
・企業で働く男女の活躍に関する調査	R3.8月～9月	1,173人

[お茶の水女子大学からの政策提言]

・提言書手交式および意見交換	R3.10月
----------------	--------

(2) 基本理念

意見交換会等を通じていただいた様々な意見等を踏まえ、本計画では「ふくい暮らしをより豊かに、みんなが『しあわせ』を実感」をテーマに、その実現に向け5つの基本理念を掲げ、県民一人ひとりの「しあわせ」に寄り添った施策を進めていきます。

<基本理念>

ふくい暮らしをより豊かに、みんなが「しあわせ」を実感

自分の「しあわせ」は、自分が選択

様々な生き方・暮らし方の選択肢があり、それぞれが自分にあった「最適解」を自ら選択

「がんばれ」から「楽しもう」へ

これまで走り続けてきた人に対し、これからは「がんばれ」ではなく「楽しもう」へ

時間と心に「ゆとり」を

日々の暮らしの中で、時間的および精神的な「ゆとり」を創出し、「Me Time = 自分のための時間」を持つ

「安心」があるから「挑戦」できる

みんな「居場所」があり、あらゆる場面で「役割」が与えられ、安心して新しいことに挑戦できる

誰もがいつまでも居心地よく

家族・地域のつながりや支え合いの精神を大切にし、すべての世代が安心して暮らし生涯活躍できる

テーマ

ふくいの暮らしをより豊かに、みんなが「しあわせ」を実感

男女が、互いにその人権を尊重し、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる、持続可能な男女共同参画社会の実現に向け、福井県の地域性や県民性を踏まえながら、県民の暮らしを充実させ、みんなが「しあわせ」を実感できる施策に取り組みます。

基本理念

○自分の「しあわせ」は、自分が選択

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、働き方や人と人とのコミュニケーションの方法が大きく変化しました。人々の生き方・暮らし方そのものが多様化する中、「しあわせ」にも多様な選択肢があり、それぞれが自分にあった「最適解」を自ら選択できることが大切であると考えます。

○「がんばれ」から「楽しもう」へ

これまで女性のキャリアアップや地域活動におけるチャレンジなど“がんばる女性”を応援してきました。これからは「楽しむ」視点を加え、「がんばれ」から「楽しもう」を合言葉に、一人ひとりのなりたい自分や叶えたい夢の実現を応援します。

○時間と心に「ゆとり」を

日々の暮らしの中で、時間的および精神的な「ゆとり」を創出し、生み出された時間を家族のためや仕事のスキルアップ等だけに使うのではなく、「Me Time＝自分のための時間」を持つ必要があります。

○「安心」があるから「挑戦」できる

「安心」という土台があるからこそ、新たなチャレンジが可能となります。みんなに「居場所」があり、あらゆる場面で「役割」が与えられ、安心して新しいことに挑戦できる、また、挑戦する人同士が応援しあう風土を醸成します。

○誰もがいつまでも居心地よく

家族・地域のつながりや支え合いの精神を大切にし、性別や年齢等に関わらずすべての人が安心して暮らし、生涯新たなことにチャレンジし活躍できる環境づくりを進めます。

2 計画の体系

本計画では、5つの分野ごとに施策の方向性を定め、各種施策に取り組みます。

